

平成 28 年

# 三重県議会定例会会議録

( 12 月 21 日 )  
( 第 30 号 )

第  
30  
号  
12  
月  
21  
日



平成28年

# 三重県議会定例会会議録

## 第 30 号

○平成28年12月21日（水曜日）

---

### 議事日程（第30号）

平成28年12月21日（水）午前10時開議

- 第 1 議案第135号から議案第176号まで  
〔委員長報告、採決〕
- 第 2 請願の件  
〔採決〕
- 第 3 意見書案第19号及び意見書案第20号  
〔採決〕
- 第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 第 5 特別委員会の調査事項に関する報告の件
- 第 6 閉会中の継続調査の件

---

### 会 議 に 付 し た 事 件

- 日程第 1 議案第135号から議案第176号まで
  - 日程第 2 請願の件
  - 日程第 3 意見書案第19号及び意見書案第20号
  - 日程第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
  - 日程第 5 特別委員会の調査事項に関する報告の件
  - 日程第 6 閉会中の継続調査の件
-

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 47名

1	番	芳野	正英
2	番	中瀬古	初美
3	番	廣	耕太郎
4	番	山内	道明
5	番	山本	里香
6	番	岡野	恵美
7	番	倉本	崇弘
8	番	稲森	稔尚
9	番	下野	幸助
10	番	田中	智也
11	番	藤根	正典
12	番	小島	智子
13	番	彦坂	公之
14	番	濱井	初男
16	番	木津	直樹
17	番	田中	祐治
18	番	野口	正
19	番	石田	成生
20	番	中村	欣一郎
21	番	大久保	孝栄
23	番	津村	衛
24	番	杉本	熊野
25	番	藤田	宜三
26	番	後藤	健一
27	番	北川	裕之
28	番	村林	聡

29	番	小林	正人
30	番	服部	富男
31	番	津田	健児
32	番	中嶋	年規
33	番	奥野	英介
34	番	今井	智広
35	番	長田	隆尚
36	番	舘	直人
37	番	日沖	正信
38	番	前田	剛志
39	番	舟橋	裕幸
40	番	三谷	哲央
41	番	中村	進一
43	番	青木	謙順
44	番	中森	博文
45	番	前野	和美
46	番	水谷	隆
47	番	山本	勝
48	番	山本	教和
49	番	西場	信行
50	番	中川	正美
欠席議員	2名		
15	番	吉川	新
22	番	東	豊
(42	番	欠	番)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長

福田 圭 司

書記(事務局次長)	原田孝夫
書記(議事課長)	梶屋眞
書記(企画法務課長)	佐々木俊之
書記(議事課課長補佐兼班長)	西塔裕行
書記(議事課主幹)	川北裕美
書記(議事課主査)	松本昇

---

会議に出席した説明員の職氏名

知事	鈴木英敬
副知事	石垣英一
副知事	渡邊信一郎
危機管理統括監	稲垣清文
防災対策部長	福井敏人
戦略企画部長	西城昭二
総務部長	嶋田宜浩
健康福祉部長	伊藤隆
環境生活部長	田中功
地域連携部長	服部浩
農林水産部長	吉仲繁樹
雇用経済部長	廣田恵子
県土整備部長	水谷優兆
健康福祉部医療対策局長	松田克己
健康福祉部子ども・家庭局長	岡村昌和
環境生活部廃棄物対策局長	渡辺将隆
地域連携部スポーツ推進局長	村木輝行
地域連携部南部地域活性化局長	亀井敬子
雇用経済部観光局長	水島徹
雇用経済部伊勢志摩サミット推進局長	村上亘

企 業 庁 長  
病院事業庁長  
会計管理者兼出納局長

松 本 利 治  
加 藤 敦 央  
城 本 暁

教育委員会委員長  
教 育 長

森 脇 健 夫  
山 口 千代己

公安委員会委員  
警 察 本 部 長

川 端 郁 子  
森 元 良 幸

代表監査委員  
監査委員事務局長

福 井 信 行  
小 林 源太郎

人事委員会委員長  
人事委員会事務局長

竹 川 博 子  
青 木 正 晴

選挙管理委員会委員

高 木 久 代

労働委員会事務局長

田 畑 知 治

---

午前10時0分開議

## 開 議

○議長（中村進一） ただいまから本日の会議を開きます。

## 諸 報 告

○議長（中村進一） 日程に入る先立ち、報告いたします。

付託議案の審査報告書並びに請願審査結果報告書が所管の常任委員長から

提出されました。

次に、意見書案第19号及び意見書案第20号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

以上で報告を終わります。

---

### 環境生活農林水産常任委員会審査報告書

議案番号	件名
151	三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案
161	工事請負契約の変更について（桑名市源十郎新田事案支障除去対策工事）
162	工事請負契約の変更について（桑名市五反田事案恒久対策（分-3）工事）
166	みえ県民交流センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成28年12月14日

三重県議会議長 中村 進一 様

環境生活農林水産常任委員長 彦坂 公之

---

### 防災県土整備企業常任委員会審査報告書

議案番号	件名
159	工事請負契約について（一般国道169号（土場バイパス）道路改良（新土場トンネル（仮称））工事）
160	工事協定締結について（一般国道42号道路改築事業に伴う参宮線松下・池の浦シーサイド間2.5km304m付近で交差する池の浦こ線橋改築工事）



163	工事請負契約の変更について（中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区）志登茂川浄化センター管理棟（建築）工事）
-----	--

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成28年12月13日

三重県議会議長 中村 進一 様

防災県土整備企業常任委員長 下野 幸助

### 教育警察常任委員会審査報告書

議案番号	件名
155	三重県立特別支援学校条例の一部を改正する条例案

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成28年12月12日

三重県議会議長 中村 進一 様

教育警察常任委員長 村林 聡

### 総務地域連携常任委員会審査報告書

議案番号	件名
158	工事請負契約について（三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場整備（競技施設）工事）
164	損害賠償の額の決定及び和解について
165	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する事務の受託を廃止するための協議について

167	三重県立ゆめドームうえのの指定管理者の指定について
-----	---------------------------

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成28年12月14日

三重県議会議長 中村 進一 様

総務地域連携常任委員長 大久保 孝栄

### 予算決算常任委員会審査報告書

議案番号	件名
135	平成28年度三重県一般会計補正予算（第4号）
136	平成28年度三重県県債管理特別会計補正予算（第1号）
137	平成28年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計補正予算（第1号）
138	平成28年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
139	平成28年度三重県立小児心療センターあすなろ学園事業特別会計補正予算（第1号）
140	平成28年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）
141	平成28年度三重県地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）
142	平成28年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
143	平成28年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
144	平成28年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）

145	平成28年度三重県港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）
146	平成28年度三重県流域下水道事業特別会計補正予算（第1号）
147	平成28年度三重県水道事業会計補正予算（第1号）
148	平成28年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第1号）
149	平成28年度三重県電気事業会計補正予算（第1号）
150	平成28年度三重県病院事業会計補正予算（第1号）
152	三重県職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案
153	三重県警察関係手数料条例の一部を改正する条例案
154	公立学校職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案
156	企業庁企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
157	当せん金付証券の発売について
168	平成28年度三重県一般会計補正予算（第5号）
169	平成28年度三重県立小児心療センターあすなろ学園事業特別会計補正予算（第2号）
170	平成28年度三重県流域下水道事業特別会計補正予算（第2号）
171	平成28年度三重県水道事業会計補正予算（第2号）
172	平成28年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第2号）
173	平成28年度三重県電気事業会計補正予算（第2号）
174	平成28年度三重県病院事業会計補正予算（第2号）

175	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
176	公立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成28年12月19日

三重県議会議長 中村 進一 様

予算決算常任委員長 舘 直人

## 請 願 審 査 結 果 報 告 書

( 新 規 分 )

環境生活農林水産常任委員会関係

受理 番号	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審 査 結 果
請29	私学助成について	津市上浜町一丁目293番地 の4 三重県私立高等学校・ 中学校・小学校保護者 会連合会 会長 濱田 典保 ほか20名	山 内 道 明 岡 野 恵 美 倉 本 崇 弘 稲 森 稔 尚 小 島 智 子 野 口 正 栄 大久保 孝 栄 藤 田 宜 三 小 林 正 人 津 田 健 児 長 田 隆 尚	採択

防災県土整備企業常任委員会関係

受理番号	件名	提出者	紹介議員	審査結果
請30	開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準の運用等について改善を求めることについて	津市上浜町1丁目6番1 公益社団法人三重県宅地建物取引業協会 会長 菅尾 悟	山内道明 岡野恵美 小島智子 野口正栄 大久保孝栄 藤田宜三 小林正人 津田健児 長田隆尚	採択

意見書案第19号

私学助成の充実を求める意見書案

上記提出する。

平成28年12月12日

提出者

環境生活農林水産常任委員長

彦坂公之

私学助成の充実を求める意見書案

私立学校は、独自の校風を守りつつ建学の精神に基づく個性豊かで特色ある教育を行い、教育の振興及び発展に寄与している。

しかしながら、私立学校に修学する生徒等の保護者にとって、小学校、中学校及び高等学校における公私間の教育費負担の格差は大きく、とりわけ入学時納付金が高額であり、私立学校の生徒等は大きな経済的負担を強いられているところである。

また、近年における少子化等の影響もあり、私立学校をめぐる経営環境は厳しい状況にある。

よって、国におかれては、私立学校に修学する生徒等の保護者の経済的負担

の軽減及び私立学校における経営の健全性向上を図るため、私学助成に係る国庫補助制度を堅持するとともに、経常的経費の助成を更に充実するよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

三重県議会議長 中 村 進 一

(提 出 先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

---

意見書案第20号

開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準に  
関する意見書案

上記提出する。

平成28年12月13日

提 出 者

防災県土整備企業常任委員長

下 野 幸 助

開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準に  
関する意見書案

宅地開発については、都市計画法や宅地造成等規制法等に基づく開発許可を受ける必要があるが、これらの法令に基づく開発許可においては、災害を防止するため必要な措置を講ずることが許可の基準として挙げられており、開発を行う際には、宅地の安全性を確保する措置が講じられているところである。

一方で、都市計画法等に基づく開発許可を受け、開発が行われた地域が、後

に、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域の指定を受ける場合がある。開発が行われた地域がこれらの指定を受けると、当該地域に所在する不動産の取引を行う場合に、その旨を重要事項として説明することが義務付けられる。また、特に、土砂災害特別警戒区域に指定された場合には、住宅地分譲などの開発行為について許可が必要となるほか、建築物の構造が規制されるなどの法令上の制限が課されることとなる。そのため、開発が行われた地域が、これらの指定を受けると、開発を行った事業者ばかりでなく、当該地域に所在する不動産を取得した者も予期しない損害を被るおそれがある。

よって、本県議会は、両基準の運用が国民の理解を得られるよう、国において技術的助言その他の措置を講じられるよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

三重県議会議長 中村進一

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣

---

## 委員 長 報 告

○議長（中村進一） 日程第1、議案第135号から議案第176号までを一括して議題といたします。

本件に関し、所管の常任委員長から順次、委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。彦坂公之環境生活農林水産常任委員長。

〔彦坂公之環境生活農林水産常任委員長登壇〕

○環境生活農林水産常任委員長（彦坂公之） 御報告申し上げます。

環境生活農林水産常任委員会に審査を付託されました議案第151号三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案外3件につきまして

は、去る12月12日及び14日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 下野幸助防災県土整備企業常任委員長。

〔下野幸助防災県土整備企業常任委員長登壇〕

○防災県土整備企業常任委員長（下野幸助） 御報告申し上げます。

防災県土整備企業常任委員会に審査を付託されました議案第159号工事請負契約について（一般国道169号（土場バイパス）道路改良（新土場トンネル（仮称））工事）外2件につきましては、去る12月13日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会で特に議論のありました事項について申し述べます。

最初に、消防団についてであります。

県当局から、みえ消防団応援の店（仮称）制度について、平成29年度中の運用を目指しているとの説明を受けました。

この制度を契機に、消防団の役割や意義についての県民の理解が深まり、課題となっている消防団員の確保につながることを期待されます。

社会情勢が変化する中で、自営業などに従事する消防団員よりも事業所などに勤務する消防団員の占める割合が増加し、消防活動に出動しにくい現状も課題となっています。

県当局におかれましては、消防団員を雇用している事業所の支援についても取り組んでいただくよう要望します。

次に、RDF焼却・発電事業についてであります。

県当局から、平成29年度以降のRDF焼却・発電施設等の運転管理業務委託契約は、これまでの委託契約額と比べると極めて高額なものとなっているとの説明を受けました。



運転開始から14年以上が経過し、施設の点検整備などの維持管理にかかる費用などの増加が要因とのことでしたが、平成32年度の事業終了までの間、県当局におかれましては、運用に関するコスト意識を持ち、施設の維持管理が適切に行われるよう、受託事業者への指導も含め、より安全で安定した運営を行うよう強く要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 村林 聡教育警察常任委員長。

〔村林 聡教育警察常任委員長登壇〕

○教育警察常任委員長（村林 聡） 御報告申し上げます。

教育警察常任委員会に審査を付託されました議案第155号三重県立特別支援学校条例の一部を改正する条例案につきましては、去る12月12日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 大久保孝栄総務地域連携常任委員長。

〔大久保孝栄総務地域連携常任委員長登壇〕

○総務地域連携常任委員長（大久保孝栄） 御報告申し上げます。

総務地域連携常任委員会に審査を付託されました議案第158号工事請負契約について（三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場整備（競技施設）工事）外3件につきましては、去る12月12日及び14日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会にて特に議論のありました事項について申し述べます。

三重県立ゆめドームうえのの指定管理者の指定についてであります。

三重県立ゆめドームうえのについては、平成29年4月1日から新たな指定管理者による管理が行われることとなっておりますが、今回審査選定された指定管理候補者による管理運営業務の実施に当たり、県当局におかれては、公

の施設であるという観点から、自主事業が施設の利用促進と県民サービスの向上につながっているかを十分にチェックするとともに、事業計画の中で提案している内容の実施状況を、設置者としてしっかりと注視するよう要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 館 直人予算決算常任委員長。

〔館 直人予算決算常任委員長登壇〕

○予算決算常任委員長（館 直人） 御報告申し上げます。

予算決算常任委員会に審査を付託されました議案第135号平成28年度三重県一般会計補正予算（第4号）外29件につきましては、去る12月9日から14日に該当の分科会で詳細な審査を行った後、12月19日に本委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 以上で委員長報告を終わります。

委員長報告に対する質疑並びに討論の通告は受けておりません。

## 採 決

○議長（中村進一） これより採決に入ります。

議案第135号から議案第176号までの42件を一括して起立により採決いたします。

本案に対する委員長の報告はいずれも可決であります。本案をいずれも委員長の報告どおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（中村進一） 起立全員であります。よって、本案はいずれも委員長の報告どおり可決されました。

## 請 願 の 審 議

○議長（中村進一） 日程第2、請願の件を議題といたします。

本件に関する関係常任委員会の審査の結果は、請願審査結果報告書のとおり、採択2件であります。

お諮りいたします。本件は議事進行上、委員長報告を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村進一） 御異議なしと認め、本件は委員長報告を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

## 採 決

○議長（中村進一） これより採決に入ります。

採決は2回に分け、起立により行います。

まず、請願第29号私学助成についてを採決いたします。

本件を委員会の決定どおり採択することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（中村進一） 起立全員であります。よって、本件は委員会の決定どおり採択することに決定いたしました。

次に、請願第30号開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準の運用等について改善を求めることについてを採決いたします。

本件を委員会の決定どおり採択することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（中村進一） 起立多数であります。よって、本件は委員会の決定どおり採択することに決定いたしました。

なお、採択されました請願につきましては、お手元に配付のとおり、処理経過及び結果の報告を求めることといたしましたので、御了承願います。

採択された請願で処理経過及び結果の報告を求めるもの  
環境生活農林水産常任委員会関係

請願 第29号 私学助成について

防災県土整備企業常任委員会関係

請願 第30号 開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準の運用等について改善を求めることについて

---

## 意見書案審議

○議長（中村進一） 日程第3、意見書案第19号私学助成の充実を求める意見書案及び意見書案第20号開発許可に係る基準と土砂災害警戒区域等の指定に係る基準に関する意見書案を一括して議題といたします。

お諮りいたします。本件は議事進行上、いずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村進一） 御異議なしと認め、本件はいずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

## 採 決

○議長（中村進一） これより採決に入ります。

意見書案第19号及び意見書案第20号の2件を一括して起立により採決いたします。

本案をいずれも原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（中村進一） 起立全員であります。よって、本案はいずれも原案のとおり可決されました。

## 常任委員長報告

○議長（中村進一） 日程第4、常任委員会の調査事項に関する報告の件を議

題といたします。

本件に関し、戦略企画雇用経済常任委員会、健康福祉病院常任委員会及び予算決算常任委員会から調査の経過等について報告いたしたい旨の申し出がありますので、これを許します。石田成生戦略企画雇用経済常任委員長。

〔石田成生戦略企画雇用経済常任委員長登壇〕

○戦略企画雇用経済常任委員長（石田成生） 戦略企画雇用経済常任委員会において特に議論のありました事項について御報告申し上げます。

首都圏営業拠点三重テラスについてであります。

三重テラスについては、平成30年3月末で運営事業者との契約期間が満了することから、今後のあり方、方向性を見定めるための総括評価が求められています。

来館者数やメディア掲載件数等については、伊勢志摩サミットの効果等もあり、順調に推移しています。

しかしながら、メディア掲載に伴う広告換算効果については、集客などの実績にどの程度つながっているのかまでは明確に示されておらず、客観的に評価することが難しいのが実情です。

県当局におかれましては、費用対効果を検証し、三重テラスのあり方、方向性の議論を深めるために、今までに得られたデータを多角的な視点から分析、精査され、三重テラスを総括的に評価するための資料として改めて示されますよう要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 小島智子健康福祉病院常任委員長。

〔小島智子健康福祉病院常任委員長登壇〕

○健康福祉病院常任委員長（小島智子） 議長のお許しをいただきましたので、本委員会において特に議論のありました事項について御報告申し上げます。

三重県地域医療構想の策定についてであります。

医療介護総合確保推進法により県が策定することとなっている地域医療構想については、県内八つの構想区域ごとに設置された地域医療構想調整会議

における協議、調整を踏まえ本年度中に策定される見込みとなっており、12月9日に開催された常任委員会において中間案が示されたところです。

地域医療構想は、県民が必要なときに安心して、医療、介護のサービスを受けられるよう、それぞれの地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制に導くための非常に重要な構想です。

県当局におかれては、地域医療構想の策定はもとより、策定後も引き続き、市町や医療機関等と連携し、各構想区域における調整会議での進捗管理や目指すべき医療提供体制の実現に向けた事業の実施など、責任を持って構想の推進に当たっていただきますよう強く要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 館 直人予算決算常任委員長。

〔館 直人予算決算常任委員長登壇〕

○予算決算常任委員長（館 直人） 予算決算常任委員会における平成29年度当初予算編成関係の調査の経過について御報告申し上げます。

平成29年度当初予算は、平成29年度三重県経営方針（案）などを踏まえ、みえ県民力ビジョン・第二次行動計画の2年目として、第二次行動計画に掲げた目標の実現に向けた取組を着実に推進するための予算編成となりますが、現下の三重県財政は極めて深刻な財政状況にあることから、三重県財政の健全化を早急に進めるとともに、将来世代に負担を先送りすることのない、持続可能な行財政運営を維持していくことが不可欠であります。

本委員会といたしましては、7月の平成28年版成果レポートに係る調査に始まり、10月から11月には決算審査と同時に当初予算編成に向けての基本的な考え方について調査を行い、全員協議会での平成29年度当初予算調製方針等の調査とあわせ、議会の意見を来年度当初予算編成に反映させるため、議論を重ねてきました。

さらに、12月には各部局の当初予算要求状況について、本委員会及び各分科会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に調査を行ってきました。

県財政の状況は、平成29年度の当初予算に向けて、歳入面では平成28年度

当初予算で活用した企業会計からの繰入金金の皆減などにより一般財源収入総額の伸びが見込めない中、歳出面では引き続き、公債費や人件費、社会保障関係経費の大幅な増加等により巨額の財源不足が見込まれるなど、歳入歳出の両面でより一層深刻な状況にあります。

県当局には、第二次三重県行財政改革取組を引き続き積極的に推進するとともに、平成29年度においては、三重県財政の健全化に向けた集中取組（素案）に基づく改革の初年度として、臨時収入に依存しない財政運営の転換を目指し、より一層の歳入確保に取り組むとともに、歳出構造の抜本的見直しに取り組むよう要望します。

また、将来世代に負担を先送りしない、持続可能な財政運営に向けて、引き続き県債発行の抑制に努め、県債残高を減少させる必要はありますが、一方、県民の多様なニーズに適切、的確に応えるとともに、将来世代にとって必要な投資については柔軟に対応することも考慮し、夢と希望がかなう、しっかりとした予算を編成されるよう強く要望します。

以下、当初予算要求状況に係る調査の過程において、本委員会で特に議論のありました主な事項について御報告申し上げます。

まず、当初予算要求状況の調査に関しては、12月8日の総括的質疑において、特定政策課題枠の考え方、企業誘致の促進、子どもの貧困対策、事務事業の見直しに係る考え方、中山間地域振興対策、県債を活用した将来への投資、ドローンの活用、人件費のあり方、スクールカウンセラーの活用、リニア中央新幹線開業に向けた取組、肢体不自由児の入学時の対応、交通安全施設整備の促進などについて活発な議論がなされ、当初予算編成に反映させるよう求めました。

次に、12月9日から14日に開催された各分科会で特に議論のありました事項について、各分科会委員長から報告がありましたので申し述べます。

1点目は、私立学校に対する支援についてであります。

厳しい財政状況が続く中、私立学校に対する補助金事業についても、来年度当初予算要求では事業の統合や休止などの見直しが行われています。

県当局には、私立学校では建学の精神に基づく個性豊かで多様な教育が行われ、教育の振興及び発展に寄与していることを踏まえ、私立学校への支援を堅持し、さらに充実されるよう要望します。

2点目は、外国人住民への相談対応についてであります。

来年度の安全で安心な生活への支援事業費の予算要求では、市町における外国人住民への取組が進んできたことから、多言語による相談窓口を廃止するとしています。

県当局には、利用者が引き続き適切に相談を受けられるよう、関係市町との緊密な連携を図ることを要望します。

3点目は、地域連携部の役割についてであります。

本県の厳しい財政状況を踏まえ、市町に対する補助金等の見直しに当たっては、各部局において市町に対し丁寧な説明を行っていると聞いているところですが、地域連携部には、市町からの他部局に対する声を該当部局へ伝えるなど、県と市町の窓口としての役割をより一層担うよう要望します。

以上、当初予算編成に係る調査の概要を申し述べましたが、県当局には、前述の指摘、要望事項はもとより、本委員会や各分科会での議論や意見を十分に踏まえた上で当初予算を編成されるよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中村進一） 以上で常任委員長の報告を終わります。

## 特別委員長報告

○議長（中村進一） 日程第5、特別委員会の調査事項に関する報告の件を議題といたします。

本件に関し、子どもの貧困対策調査特別委員会から調査の経過について報告いたしたい旨の申し出がありますので、これを許します。藤根正典子どもの貧困対策調査特別委員長。

〔藤根正典子どもの貧困対策調査特別委員長登壇〕

○子どもの貧困対策調査特別委員長（藤根正典） 子どもの貧困対策調査特別



委員会における調査の経過について御報告申し上げます。

本委員会は、5月に設置されて以降、県内、県外調査をはじめ、これまで延べ10回にわたり委員会を開催し、調査や委員間討議を重ねてきました。

その中で、県内においても本当に厳しい現実と直面している子どもたちがたくさんいるということ、身をもって実感してきたところです。

これまでの委員会における調査結果を踏まえ、県当局に対し意見を申し上げます。

現在、三重県の財政は極めて厳しい状況にあり、県当局においても、施策の見直しや政策的経費の大幅な節減など、平成29年度当初予算編成に当たって大変な努力をいただいているところです。

しかし、そのような状況にあっても、子どもの貧困問題は、今、対策を進めなければ将来世代に大きく影響を及ぼすものであり、決して先送りにしてよい問題ではありません。

三重県で暮らす子どもたちが安心して毎日を過ごすために、県としてしっかりと子どもの貧困対策に関する財源を確保し、責任を持ってこの問題に取り組んでいただきますよう要望します。

その上で、早急に進めていただきたい取組について申し上げます。

1点目は、スクールソーシャルワーカーの増員についてです。

三重県子どもの貧困対策計画では、学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策を進めるため、心理や福祉等の専門的知識を有するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣、配置を進めることとしています。

特にスクールソーシャルワーカーについては、家庭が抱える様々な問題を早期に把握し、適切な支援につなげる役割が期待されており、全国的にも配置が進められているところです。

子どもたちを取り巻く環境が複雑化、多様化する中、スクールソーシャルワーカーの活用について周知を図るとともに、県内全域の学校からの派遣要請に真摯に対応するためにも、1人でも多くのスクールソーシャルワーカー

の配置を早急に進めていただきますよう要望します。

2点目は、子どもの貧困対策に係る実態把握についてです。

子どもの貧困対策を実施する上で、時期を逸することなく、必要な支援を必要な人に届けることが非常に重要です。

その意味で、困難な状況に置かれている子どもたちやその家族の実態をしっかりと把握した上で、当事者の声、生活の実態に即した子どもの貧困対策となるよう、関係部局の連携はもとより、市町や関係機関等とも十分に連携し、取組を深化させていただきますよう要望します。

以上、申し述べましたが、本年3月に策定された三重県子どもの貧困対策計画に基づく県の取組はまだ始まったばかりです。

県当局におかれては、財政状況の厳しさを理由に、ここで子どもの貧困対策が失速しないよう、着実に計画を前に進められることを要望し、中間報告といたします。

○議長（中村進一） 以上で特別委員長の報告を終わります。

## 閉 会 中 の 継 続 調 査

○議長（中村進一） 日程第6、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件は、総務地域連携常任委員会ほか6常任委員会並びに議会運営委員会の各委員長から、お手元に配付の閉会中の継続調査申出事件一覧表のとおり、それぞれ閉会中も継続してこれを行いたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。本件はいずれも申し出のとおり認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村進一） 御異議なしと認めます。よって、本件はいずれも申し出のとおり認めることに決定いたしました。

---

## 常任委員会閉会中 継続調査 申出事件一覧表

### 総務地域連携常任委員会

- 1 行財政の運営について
- 1 地域振興の推進について
- 1 スポーツの振興について
- 1 県南部地域の活性化について

### 戦略企画雇用経済常任委員会

- 1 県政の総合企画調整について
- 1 雇用対策について
- 1 エネルギー政策について
- 1 産業振興（農林水産業を除く。）について
- 1 国際交流及び観光の振興について
- 1 会計管理、監査その他行政運営の適正確保について

### 環境生活農林水産常任委員会

- 1 生活文化行政の推進について
- 1 環境保全の推進について
- 1 廃棄物対策について
- 1 農業の振興対策について
- 1 林業の振興対策について
- 1 水産業の振興対策について

### 健康福祉病院常任委員会

- 1 保健衛生行政の推進について
- 1 社会福祉及び社会保障の推進について
- 1 地域医療対策について

- 1 子ども及び青少年の育成について
- 1 病院事業の運営について

#### 防災県土整備企業常任委員会

- 1 危機管理及び防災対策の推進について
- 1 公共土木施設の整備・維持管理について
- 1 都市計画、住宅、その他土木行政の推進について
- 1 公営企業（病院事業を除く。）の運営について

#### 教育警察常任委員会

- 1 学校教育の充実について
- 1 社会教育及び文化財保護行政の推進について
- 1 警察の組織及び運営について

#### 予算決算常任委員会

- 1 予算、決算等県財政について

### 議会運営委員会閉会中 継続調査 申出事件一覧表

- 1 議会の運営に関する事項について
- 1 議会関係の条例及び規則等に関する事項について
- 1 議長の諮問に関する事項について

---

○議長（中村進一） 以上で、今期定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

## 閉 会

○議長（中村進一） これをもって、平成28年三重県議会定例会を閉会いたし

ます。

午前10時30分閉会

□閉会に当たり、中村進一議長、鈴木英敬知事は、それぞれ次の挨拶を述べた。

○議長（中村進一） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る1月18日に開会いたしました平成28年定例会は、339日間の会期を終え、本日ここに閉会の運びとなりました。

議員の皆様には、1年という長きにわたり、提出されました諸議案をはじめ、県政の諸課題について終始熱心に御審議を賜りますとともに、議事運営にも格別の御協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今定例会を振り返りますと、2月定例会議では、みえ県民カビジョン・第二次行動計画の策定について議論するとともに、その行動計画を着実に推進するため、そして、伊勢志摩サミットや教育・人づくりなど未来への投資を重点化した平成28年度当初予算等について審議を行い、可決いたしました。

5月会議では、子どもを取り巻く環境の改善のために子どもの貧困対策調査特別委員会を、また、サミットの効果を一過性にせず、人や食、産業の力を向上させていくため、サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会を、そして、議員の選挙区及び定数を検証するため選挙区調査特別委員会を設置いたしました。

6月定例会議では、昨年10月に検討会を設置して議論を重ねてまいりました三重県手話言語条例を、議員提出議案として可決、成立させました。

9月定例会議では、少子化対策に取り組む事業に係る補正予算や、三重県動物愛護推進センター条例などについて審議を行い、可決いたしました。

11月定例会議では、国の補正予算に対応した公共事業の追加など、補正予算等の審議を行い、可決いたしました。

当局におかれましては、審議の過程において議員各位から述べられました意見、要望等を十分尊重され、今後の県政運営に格段の御努力をいただきま

すよう、お願い申し上げます。

さて、この1年を、本会議以外に目を向けますと、5月に伊勢志摩サミットが無事成功裏に開催され、三重県や伊勢志摩が全国、世界に情報発信されたことは、まことに有意義で喜ばしいことでありました。関係者はもとより、県民の皆様の総力を挙げたおもてなしに、改めて感謝申し上げます。

8月には、2回目となりますみえ高校生県議会を開催し、議会活動の体験を通じて議会への関心を高めていただくとともに、高校性の視点から貴重な御意見をいただきました。

11月には、議会基本条例制定10年の節目として、第8回全国自治体議会改革推進シンポジウムを開催し、議会改革を進める他の自治体議会との交流連携を深めるとともに、今後の展開等について意見交換を行いました。

本日、平成28年定例会が閉会となりますが、明年1月17日からの定例会におきましても、二元代表制の一翼を担う議会として、県民の負託に応えるべく、引き続き住民本位の政策決定や、監視、評価、政策立案、政策提言等の議会機能の強化と充実に向けて取り組んでまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、寒さに向かう折から、議員各位並びに執行部の皆様には健康に十分留意され、よい新年を迎えられますことをお祈り申し上げます、閉会の御挨拶といたします。（拍手）

○知事（鈴木英敬） 閉会に当たりまして、私からも御挨拶申し上げます。

今定例会は、1月18日の開会以来本日まで、約1年の長期にわたり開催されましたが、その間、議員の皆様方には終始御熱心に御審議をいただき、提出の全議案を議了いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、本年は、伊勢志摩サミットが開催され、三重に新たな歴史が刻まれた年となりました。

サミットは、三重に変化を生み出す大きなチャンスであります。

サミットを成功に導いた経験や自信、誇りを持ち、県民の皆様から伊勢志摩サミット三重県民宣言の決意のもと、新たな一歩を踏み出していただくと

もに、県としてもポストサミットの取組をしっかりと進めることで、オール三重で誰もが幸せを実感できる三重の実現に向けて取り組んでまいります。

今定例会を通じまして議員の皆様方からいただきました貴重な御提言や御意見等につきましては、これを十分尊重させていただくとともに、今後の県政の推進にさらなる努力をしてまいりますので、格別の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、議員の皆様方におかれましては、御健康に十分御留意の上、なお一層県政発展のため御活躍くださいますようお願い申し上げます。簡単ではございますが閉会の御挨拶とさせていただきます。（拍手）

地方自治法第123条の規定により署名する

議 長            中 村 進 一

副 議 長        中 森 博 文

副 議 長        日 沖 正 信

署名議員        芳 野 正 英

署名議員        中瀬古 初 美

署名議員        木 津 直 樹